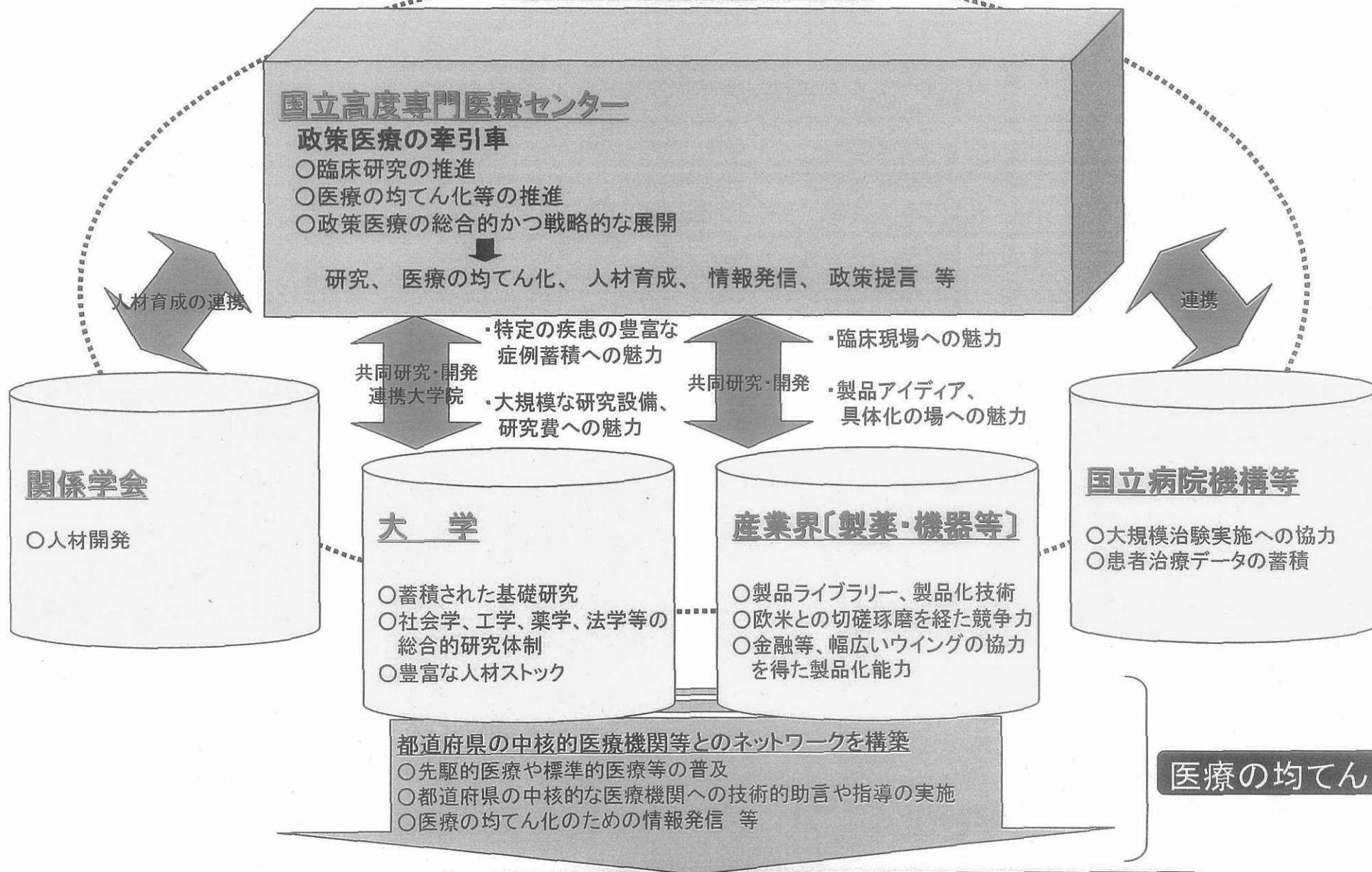


わが国の医療政策とNCを取り巻く環境と課題

<p>環境</p> <p>NC</p>	機 会	脅 威
	<p><u>医療政策上の機会</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・イノベーション促進の機運 ・医療機能の分化の促進 <p><u>NCの直面する機会</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・非公務員型独法化による産学との連携の促進 	<p><u>医療政策上の脅威</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化の更なる進展 ・医師確保難など地域医療の脆弱化 ・NCの医療・研究の成果の政策への取り込みが不十分 <p><u>NCの直面する脅威</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・財政基盤脆弱化のおそれ ・絞り込めていない総花的医療・研究 ・優秀な人材の確保難のおそれ ・大学等との競合の熾烈化 ・地域医療との連携の弱さ
強 み	NC の 主 な 課 題	
<ul style="list-style-type: none"> ・特定分野の患者集積性が高い ・特定分野の専門家集団 <p>研 究：組織力・継続性</p> <p>医 療：豊富な臨床実績</p> <p>人材育成：特定分野について診療・研究の厚い指導体制</p> <p>情報発信：特定分野についての総合的な情報提供</p>	<p>基本的方向性</p> <p><u>政策医療の牽引車</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨床研究の推進 ・医療の均てん化等の推進 ・政策医療の総合的かつ戦略的な展開 <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ <u>先駆的医療等の研究</u> <ul style="list-style-type: none"> ・成果を継続的に生み出していくために「医療研究センター」的仕組みの構築 ・NCの強みを活かして、研究開発の「主導的役割」を担い、産学等との連携を図った医療クラスターを形成 ・基礎研究成果と臨床研究との連携を図る観点から、TR（トランスレーショナルリサーチ）を推進 ・また、研究開発を推進するためのNC内での資源の重点化と研究基盤（データバンク等）の整備 ・在宅医療等のモデル医療などの手法の開発 ○ <u>医療の均てん化</u> <ul style="list-style-type: none"> ・都道府県の中核的な医療機関とのネットワークを構築する等、医療の均てん化の道筋を確立 ・また、均てん化の評価手法を開発し、情報の収集・分析を行い、開発した評価を実施 ○ <u>人材育成</u> <ul style="list-style-type: none"> ・国内外の人材ネットワークの拠点となるよう、指導的な研究者や臨床家を指導する者の育成 ・世界レベルの人材を輩出できるよう、戦略的に精鋭の養成 ○ <u>情報発信</u> <ul style="list-style-type: none"> ・国民が適切な医療の選択が可能となるよう、患者本位、地域の医療機関本位の情報を発信 ○ <u>政策提言</u> <ul style="list-style-type: none"> ・研究、医療の均てん化等に取り組む中で明らかになった課題等を踏まえ、医療水準の向上につながる政策提言機能の発揮 	
弱 み		
<ul style="list-style-type: none"> ・特定分野に専門分化したことによる低い総合力 ・研究成果と臨床応用との連携が弱い <p>研 究：・医学外の集学的研究体制が弱い</p> <p>・企業との連携が未成熟</p> <p>医 療：・都道府県等との連携が弱い</p> <p>・医療提供の「支援・指導者」としての位置づけが未成熟</p> <p>・データの蓄積・分析が不十分</p> <p>人材育成：医療と研究のキャリアパスが未成熟</p> <p>情報発信：社会的情報発信が弱い</p>		

NCの役割と産業界、大学等との医療クラスター形成と地域医療支援(イメージ)

医療クラスター形成



地域医療[都道府県、医療界]との連携を通じた国民医療の進展